

分野 (2) 気管支ぜん息・COPD患者の日常生活の管理、指導に関する調査研究

研究課題名：④COPDの重症化防止のための効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及

申請課題名：タブレットPCを用いた教育ツールの開発とCOPDエドゥケーター育成による効果的なセルフマネジメント教育の実践・普及に関する調査研究

調査研究代表者氏名：植 木 純

評価コメント

- ・タブレットPCを用いたCOPD患者のセルフマネジメント教育システム構築である。
- ・iPadを用いた相互方向的教育プログラムは完成度が高まった。
- ・大規模な前向き検証試験への展望がひらけはじめたことは評価できる。
- ・広く利用出来るような教育ツールを開発してもらいたい。
- ・公害認定患者は高齢化しており、タブレットPCを使用するのは、難しいと考えられているが、かえって文字を読んだり、聞いたりするよりは、何回も繰り返し練習したり、説明を聞いたりすることができることは、長所となりうる。
- ・タッチパネルになり、高齢者にも使いやすいようになっていると思うので、今後を期待する。
- ・デバイスによって異なる吸入手技を、COPD高齢者でも学習できるように動画で作成し提供する試みに良好な評価が得られれば、この手法はすべての年齢のぜん息患者・保護者にも応用できるので、成果が期待される。
- ・COPDで患者教育が必要な年齢層は大多数が高齢者であるため、高齢化社会を迎えてこの傾向は今後ますます強くなって行くが、COPDそのものによる体力・意欲の低下に加えて、加齢による理解力・意欲の低下という問題を抱えているという社会的条件の下で、どのような方法で患者教育を行うのが最も効率的で、実現可能・持続可能か十分考慮する必要がある。
- ・大変詳細なアプリケーションは年度内に完成の予定であり、新年度に向けて呼吸教室のみならず、個人へのアプライをするように今から準備すべき(まだ12例のアプライ)である。
- ・セルフマネジメント教育についても広く利用出来ることを望む。
- ・COPDエドゥケーター養成への取り組みにやや遅れがみられるので早急に進行プログラムの完成と試行を期すべきである。
- ・ACOSについてはまだ治療ガイドラインが不十分であり、今後の改定が必要になってゆく可能性がある。